

議案第 6 号

野田市老人福祉センター改修工事請負契約の締結について

野田市老人福祉センター改修工事を施工するため、下記の請負契約を締結することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年野田市条例第7号）第2条の規定により、議会の議決を求める。

記

- | | |
|----------|--|
| 1 契約の目的 | 野田市老人福祉センター改修工事 |
| 2 契約の方法 | 総合評価方式による制限付一般競争入札 |
| 3 契約金額 | 金191,400,000円 |
| 4 契約の相手方 | 野田市清水159番地
丸要建設 株式会社
代表取締役 戸辺 太一 |

令和2年9月1日提出

野田市長 鈴木 有

提案理由

野田市老人福祉センター改修工事を施工するため、請負契約を締結しようとするものである。

建設工事請負契約書

- 1 工 事 名 野田市老人福祉センター改修工事
- 2 工 事 場 所 野田市瀬戸270番地
- 3 工 期 自 令和 年 月 日
至 令和3年 6月30日
- 4 工 事 番 号 営繕第11号
- 5 請負代金額 金191,400,000円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額17,400,000円)
- 6 契約保証金

上記の工事について、発注者 野田市 と受注者 丸要建設 株式会社 は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、この契約は「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」(昭和39年野田市条例第7号)により議会の議決を得たとき効力を生ずるものとする。ただし、議会の議決を得られないとき、この契約は無効となり発注者は損害賠償の責を負わない。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和2年8月18日

発 注 者 住所 野田市鶴奉7番地の1
氏名 野田市
野田市長 鈴木 有

受 注 者 住所 野田市清水159番地
氏名 丸要建設 株式会社
代表取締役 戸辺 太一

入札結果表

開札日時	令和2年8月3日 午後1時30分
開札場所	野田市役所高層棟3階301会議室
落札者	丸要建設 株式会社
落札価格	191,400,000円（うち消費税等の額 17,400,000円）
予定価格	194,370,000円（うち消費税等の額 17,670,000円）

(単位：千円)

業 者 名	第1回	第2回	価格 評価点	技術 評価点	評価値	摘要
丸要建設（株）	174,000		100.00	17	117.00	落札

(消費税等の額を除く)

低入札価格調査基準価格177,459,700円（うち消費税等の額 16,132,700円）

野田市老人福祉センター改修工事

設計概要書

1．工事名称 野田市老人福祉センター改修工事

2．工事場所 千葉県野田市瀬戸270番地

3．地域地区 市街化調整区域

4．敷地面積 2,621.00㎡

5．構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建て

6．建築面積 670.90㎡

7．延床面積 670.90㎡

8．設計要旨

(1) 基本方針

施設の老朽化による設備面での経年劣化への対応、雨漏り等の性能劣化への対応、利用者の利便性改善への対応、バリアフリーの向上を主たる目的におき、老朽化した建物を大規模に改修し、施設の延命化とメンテナンスコストの低減を図る。

今後、市民が安全・安心・快適かつ機能的に利用できるように、建物の機能充足及び活動環境の整備を行うものとし計画した。

(2) 平面計画

機能性・効率性の向上

- ・ 施設配置の見直しを行い、施設利用者のニーズに対応した使用しやすく、快適な内部環境の整備を図る。
- ・ 旧浴室を改修し、今まで使えなかった部分を有効活用する。
- ・ 耐震診断結果により、非構造部材の耐震化を行う。
- ・ 駐車台数不足の解消を行う。

快適性の向上

- ・ 既存の個別空調方式はそのままとし、諸室の利用状況に即した快適な空調環境の整備を図る。
- ・ LED照明を採用し、維持管理費の削減、消費電力の低減を図る。

バリアフリーの向上

- ・ 各所バリアフリーに対応した計画を行う。(床の段差解消、男女便所手摺等)

環境・近隣への配慮

- ・ 断熱施工を行い地球温暖化の軽減に努める。

(3) 主要室一覧

改修前	改修後		備 考
室 名	室 名	部屋面積	
玄関ホール	玄関ホール	約 52.3 m ²	
事務室	事務室	約 19.2 m ²	
談話室 男子・女子便所(1)	談話コーナー	約 24.7 m ²	
医務室	男女兼用トイレ 多目的トイレ	約 4.4 m ² 約 5.9 m ²	
管理人室 湯沸室(1)	倉庫(1)	約 19.5 m ²	
会議図書室	教養・娯楽室	約 39.0 m ²	
和室	洋室 1 洋室 2	約 47.4 m ² 約 27.6 m ²	
機能回復室 男子脱衣室	いこいの広場	約 33.0 m ²	
女子浴室 女子脱衣室	作業室 更衣室(1) 倉庫(2)	約 12.5 m ² 約 9.8 m ² 約 8.9 m ²	
男子浴室	倉庫(3)	約 19.8 m ²	
湯沸室(2)	湯沸室	約 8.8 m ²	
男子手洗い 男子便所(2)	男子トイレ	約 18.0 m ²	
女子手洗い 女子便所(2)	女子トイレ	約 20.9 m ²	
集会室	集会室	約 180.0 m ²	

9 . 建築改修工事

(1) 外部仕上概要

場 所	仕 様
屋根	塗膜防水
外壁・柱型	防水型複層塗材 E (水性弾性 2 液性フッ素仕上げ)
軒天井	外装薄塗材 E (アクリルリシン)
建具	アルミサッシ(全て新設)

(2) 内部仕上概要

室 名	仕 様				
	床	巾木	腰	壁	天井
玄関	磁器質タイル	磁器質タイル	-	ビニルクロス	岩綿吸音板
ホール	タイルカーペット	-	木目調腰パネル	ビニルクロス	岩綿吸音板
事務室	タイルカーペット	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード
談話コーナー	タイルカーペット	-	木目調腰パネル	ビニルクロス	岩綿吸音板
教養・娯楽室	タイルカーペット	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	遮音パネル
洋室 1	タイルカーペット	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	岩綿吸音板
洋室 2	タイルカーペット	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	岩綿吸音板
いこいの広場	タイルカーペット	-	木目調腰パネル	ビニルクロス	岩綿吸音板
集会室	タイルカーペット	-	木目調腰パネル	ビニルクロス	ビニルクロス
舞台	複合フローリング	木製 C L	-	ビニルクロス	E P 塗装
男女兼用トイレ	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ガラス繊維強化不燃化粧板	岩綿吸音板
多目的トイレ	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ガラス繊維強化不燃化粧板	岩綿吸音板
男子トイレ	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ガラス繊維強化不燃化粧板	岩綿吸音板
女子トイレ	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ガラス繊維強化不燃化粧板	岩綿吸音板
湯沸室	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ガラス繊維強化不燃化粧板	ケイ酸カルシウム板
作業室	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード
更衣室(1)	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード
更衣室(2)	複合フローリング	木製 C L	-	ビニルクロス	-
廊下	タイルカーペット	-	木目調腰パネル	ビニルクロス	岩綿吸音板
倉庫(1)	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード
倉庫(2)	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード
倉庫(3)	ビニル床シート	ビニルソフト巾木	-	ビニルクロス	化粧石膏ボード

C L : クリヤラッカー

E P : 合成樹脂エマルジョンペイント

10．電気設備工事

（１）電灯設備

消費電力の低減を図るため、照明器具のＬＥＤ化や老朽化した非常灯、避難誘導灯の更新を行う。

（２）動力設備

老朽化した幹線動力設備の改修を行う。

（３）構内情報通信設備

テレビコンセント、トイレ呼出し装置等の弱電設備の更新を行う。

（４）火災報知設備

老朽化した自動火災報知設備の更新を行う。

11．機械設備工事

（１）空気調和設備

既存エアコン等使用可能なものは再利用し、初期費用の削減を行う。

（２）換気設備

老朽化した換気設備の更新を行うとともに、部屋の用途及び面積変更に伴う換気扇の新設を行う。

（３）衛生器具設備

和便器の洋式化や自動水栓等の設置を行う。

（４）給水・排水設備

老朽化した給水管及び排水管の改修を行う。

（５）給湯設備

老朽化した給湯設備の改修を行う。

12 . 工事内訳書

(1) 建築工事

	工事名称	数量	単位	摘 要
1	直接仮設工事	1	式	
2	防水改修工事	1	式	
3	外壁改修工事	1	式	
4	建具改修工事	1	式	
5	内装改修工事	1	式	
6	塗装改修工事	1	式	
7	土間改修工事	1	式	
8	外構工事	1	式	

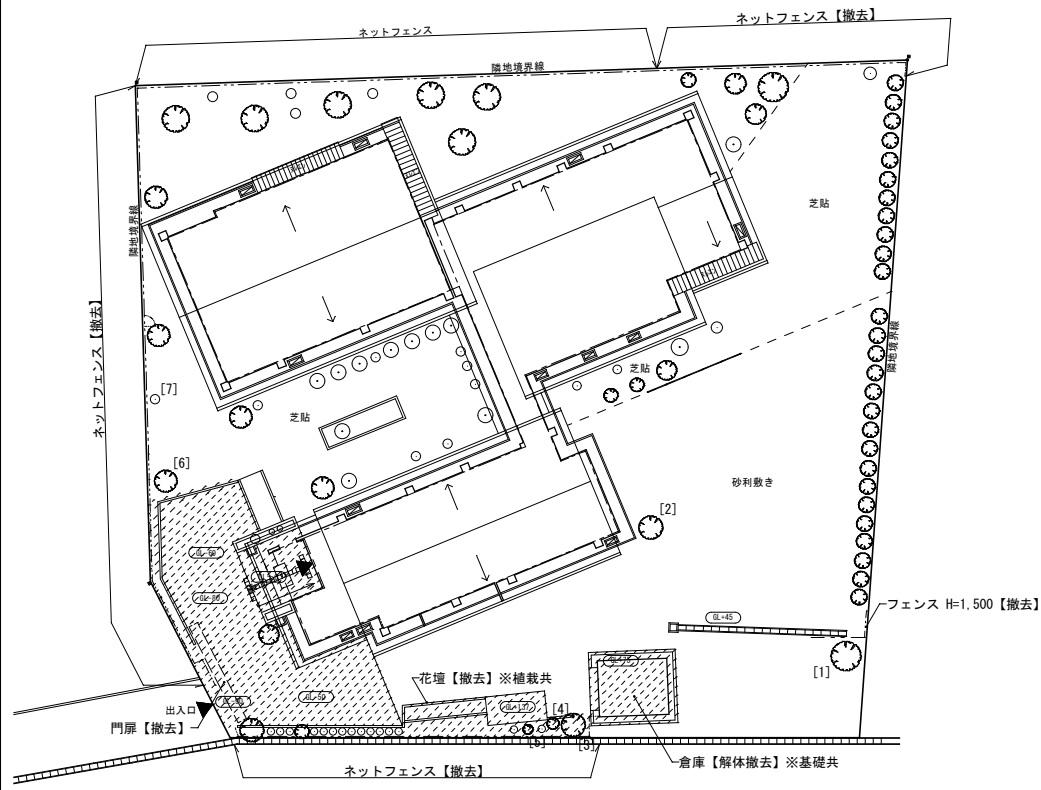
(2) 電気設備工事

	工事名称	数量	単位	摘 要
1	電灯設備工事	1	式	
2	動力設備工事	1	式	
3	構内情報通信網設備工事	1	式	
4	映像・音響設備工事	1	式	
5	インターホン等設備工事	1	式	
6	テレビ共同受信設備工事	1	式	
7	火災報知設備工事	1	式	
8	構内配電線路工事	1	式	

(3) 機械設備工事

	工事名称	数量	単位	摘 要
1	空気調和設備工事	1	式	
2	換気設備工事	1	式	
3	衛生器具設備工事	1	式	
4	給水設備工事	1	式	
5	排水設備工事	1	式	
6	給湯設備工事	1	式	
7	ガス設備工事	1	式	

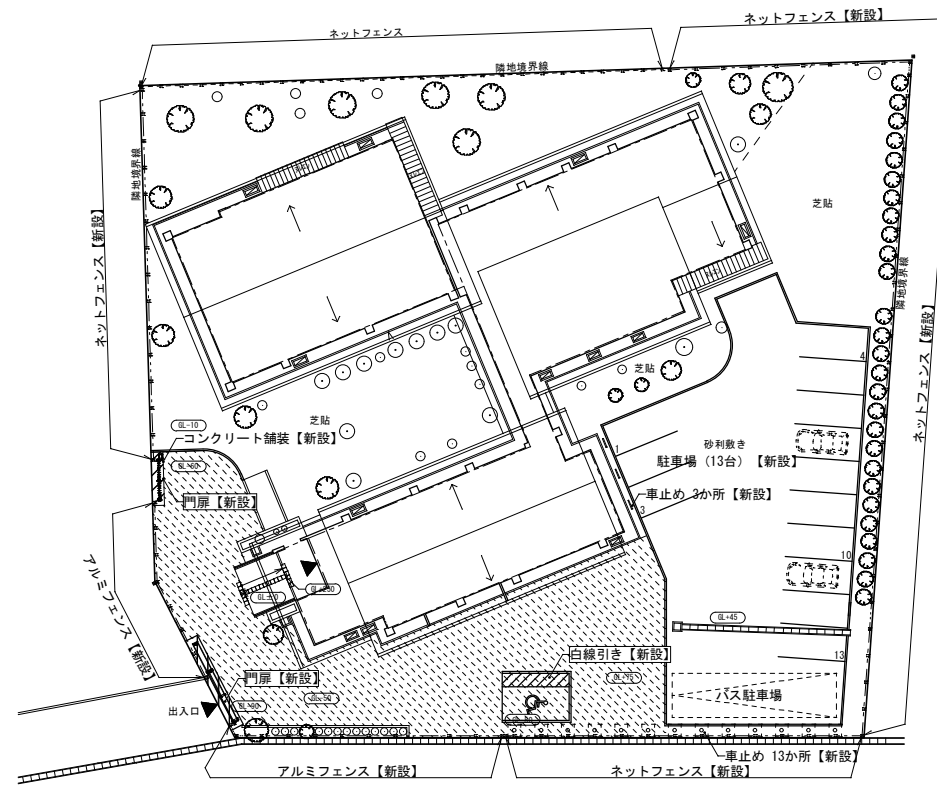
改修前



凡例
撤去範囲を示す。

伐採樹木リスト	記号	備考
伐採・抜根	[1]	高木
伐採・抜根	[2]	中木
伐採・抜根	[3]	高木
伐採・抜根	[4]	中木
伐採・抜根	[5]	低木
伐採・抜根	[6]	中木
抜根	[7]	切株

改修後



凡例
アスファルト舗装【新設】範囲を示す。

改修内容

建築工事

- 外装：屋根、外壁、外部金属製建具の全面改修を行う。
内装：現状の使用スタイルに合わせた各室用途を変更する。
また、全室内装（天井、壁、床、建具等）の全面改修を行う。
外構：駐車台数の増加、不要な倉庫の解体、敷地周辺の一部フェンス及び門扉等の改修を行う。

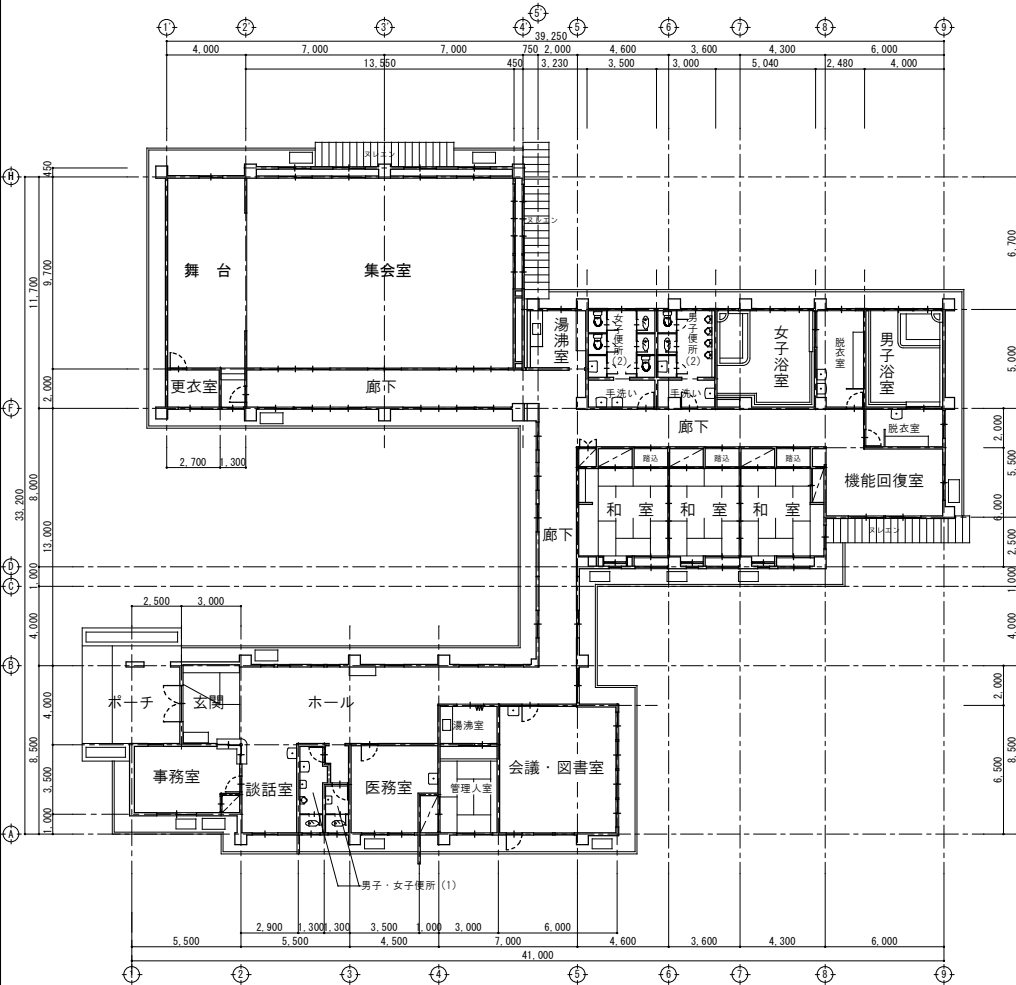
電気設備工事

- ・照明器具をLED照明に改修し省エネルギー化に努める。
・老朽化した構内情報通信網等の設備改修を行う。

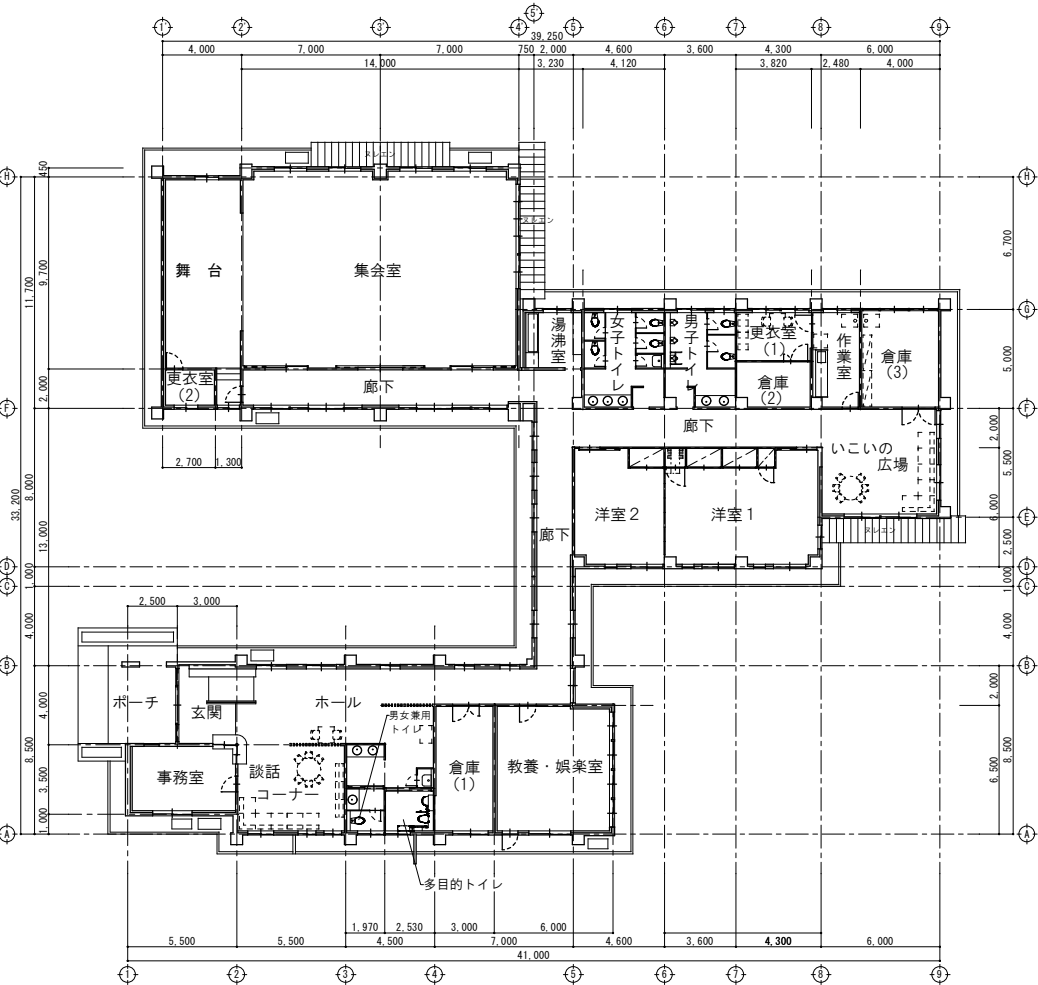
機械設備工事

- ・既存エアコン等使用可能のものは再利用しコスト削減を図る。
・多目的トイレを新設し、既存トイレを全て洋式化する。

改修前

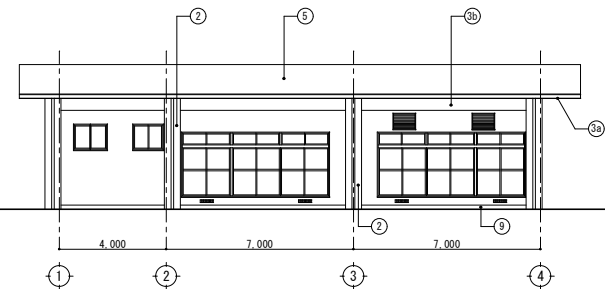
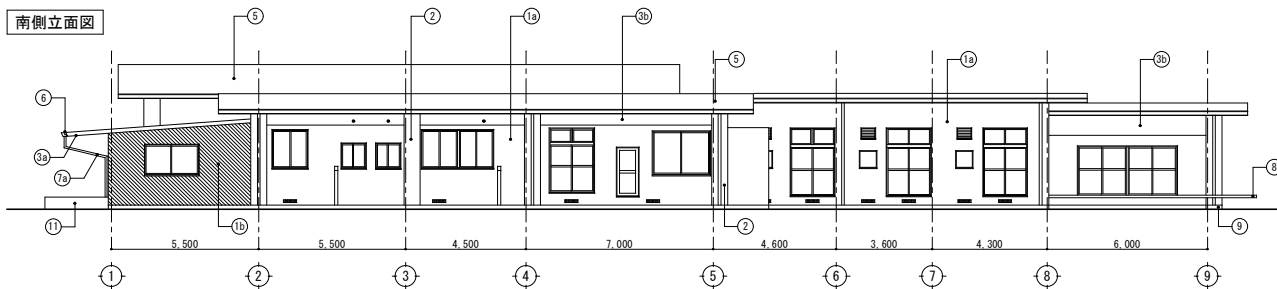


改修後

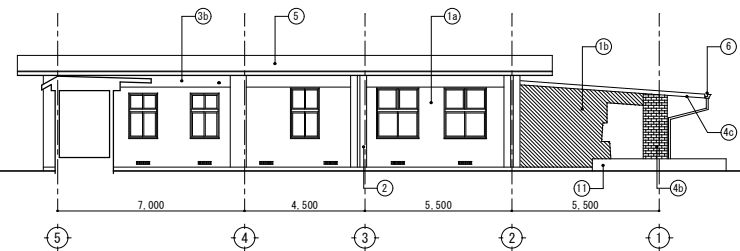
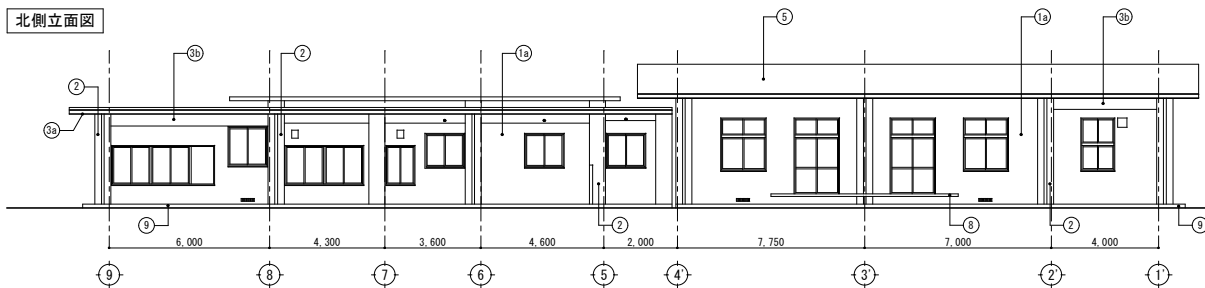


改修後

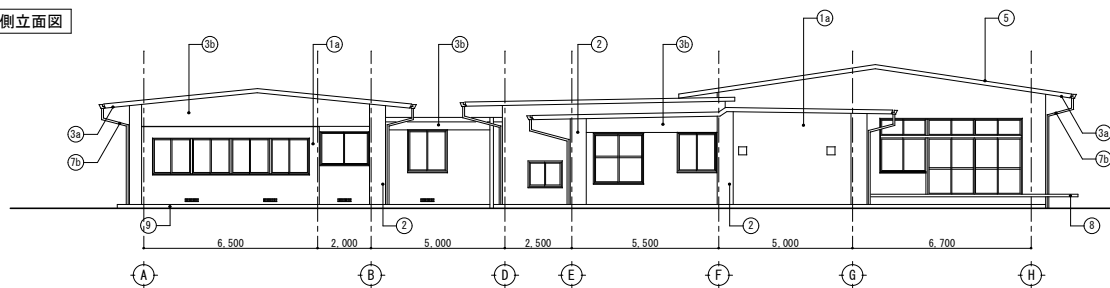
南側立面図



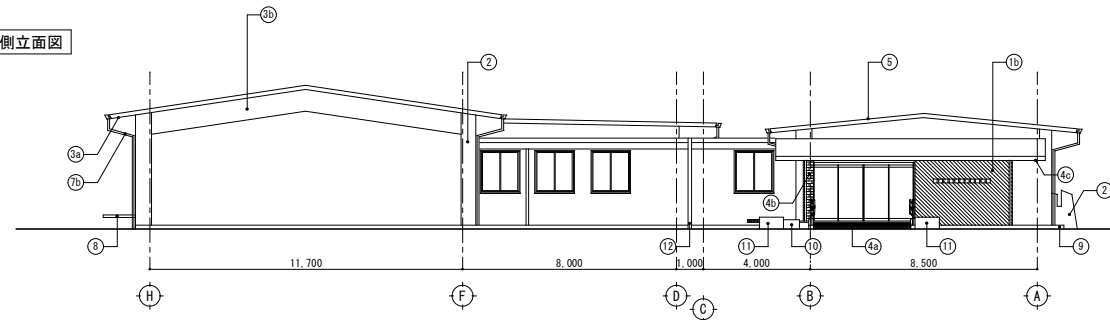
北側立面図



東側立面図



西側立面図



外部改修内容

番号	部位	
1a	外 壁	防水型複層塗材 E (水性弾性 2 液性フッ素仕上げ) 【新設】
1b	外 壁	石目調吹付塗材 【新設】
2	柱 型	防水型複層塗材 E (水性弾性 2 液性フッ素仕上げ) 【新設】
3a	軒 裏	外装薄塗材 E (アクリルリシン) 【新設】
3b	梁 型	防水型複層塗材 E (水性弾性 2 液性フッ素仕上げ) 【新設】
4a	ポーチ 床	150 角磁器質タイル張り 【新設】
4b	ポーチ 壁	タイル張り 【新設】
4c	ポーチ天井	外装薄塗材 E (アクリルリシン) 【新設】
5	屋 根	塗膜防水 【新設】
6	軒 樋	塩ビ製角樋 【新設】
7a	縦 樋	カラーガルバリウム製 【新設】
7b	縦 樋	カラー塩ビ製 【新設】
8	ヌレエン	【既存のまま】
9	犬走り	【既存のまま】
10	足洗い	【既存のまま】
11	花 壇	【既存のまま】
12	—	アルミ製エキスパンションジョイント 【新設】
—	外部建具	アルミ製サッシ 【新設】